



社会福祉法人三樺会 廣濟寺ビハーラ特養三股中央

第1回 内定者研修

第一回内定者研修 本日の予定

内容：①理事長挨拶

②法人関係職員・内定者自己紹介

③施設に関する説明

④ユニットケア研修

- ・ユニットケアの概論
 - ・廣済寺ビハーラ特養三股中央におけるユニットケアとは
- ※グループワーク、発表

ユニットケアの基本と実践への第一歩

本日の学習目標

1

基本概念の理解

ユニットケアの定義と特徴を把握する

2

従来型との比較

ユニット型と従来型の違いを構造とケアの両面から理解する

3

自身の役割の理解と実践

ユニットにおける自分の役割を理解し、その役割を踏まえて実際のケアについて具体的に考える

ユニットケアの効果

入居者の変化

安心感・満足度の向上

自分の生活習慣や好みが尊重されることで「大事にされている」という感覚を得られる。

「自分らしさ」の保持

生活リズムや趣味を続けやすくなり、「自分らしく生きている」という感覚を持てる。

行動・症状の安定

上記2つの効果より、認知症の方でも、不安や混乱が減り、問題行動が軽減されることが多い。

職員の変化

入居者理解の深まり

継続して少人数の利用者に関わるため、生活歴や嗜好、体調の変化を把握しやすい。

ケアの質の向上・やりがいの醸成

個別ケアが実現でき、入居者の反応や生活の質の向上を実感しやすく、職員のモチベーションにつながる。

チームケアの推進・連携強化

少人数で協力しやすく、情報共有と連携が進む。

責任感・主体性の醸成

少人数の中での担当制により当事者意識が高まり、自律的な課題解決が進む。

グループワーク

グループワークお題 「こんな時どうする？」

① 食事時間の自由

▶ 状況

・Cさんは薬の影響で朝食が遅いほうが食欲が出る。
・他の利用者は、皆さん8時に朝食を食べる。

▶ ユニットケアで考える視点

Cさんが食べやすい時間に提供するにはどう段取りする？

・喫食時間は、9時半までと決まっている。

② 入浴の対応

▶ 状況

Dさんはその日によって体調や気分が異なり、入浴を予定していても、当日は入れない日がある。

▶ ユニットケアで考える視点

体調や希望に合わせるためには？

・その日入浴できなかった場合はどうすればいいのか？
他の日は、別の利用者の入浴予定が入っている。

③ 夜間のトイレ対応

▶ 状況

Eさん（女性）は夜中に何度もトイレに行く。左片麻痺のため、スポンの上げ下げがうまくできない。紙パンツ（リハビリパンツ）を利用。片麻痺のため、転倒リスクもある。

▶ ユニットケアで考える視点

Eさんのペースを尊重しつつ安全を確保するには？